

地球環境の保護

住友生命では従来より健康な暮らしを支えるため、事業活動において常に地球環境への影響を配慮した様々な活動を行ってきました。今後も時代の変化に合わせ、積極的な活動に取り組みます。

スミセイ環境方針

住友生命は地球環境の維持・保全が我々が目指す「豊かで明るい長寿社会の実現」に必要な不可欠であると考えています。

当事業の公共性や社会への責任を踏まえ「健康な暮らしを支えるため、事業活動において常に地球環境への影響に配慮し、その保護に積極的に取り組む」ことをCSR経営方針に定め、日々の活動において以下の方針に従い、着実かつ持続可能な地球環境保護活動へ取り組みます。

- 1.地球環境の大切さ、および事業活動の環境への負担を十分に認識し、事業活動を通じた地球環境保護を推進します。
- 2.オフィスの省エネルギー・省資源・廃棄物のリサイクル、ならびに消耗品・什器・備品等のグリーン購入を推進します。
- 3.役職員一人ひとりの環境啓発に努め、その地球環境保護活動を支援するとともに、環境面での社会貢献に積極的に取り組みます。

■ 1. 事業活動を通じた取組み

気候変動への対応(TCFD提言への賛同)

2015年にパリ協定が採択されるなど、気候変動が大きなテーマとなっています。住友生命は、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)が気候関連のリスク・機会に関する情報開示のフレームワークを示した最終提言書(TCFD提言)へ賛同しています。また、2019年5

月には、TCFD提言へ賛同する企業や金融機関等が一体となって取組みを推進し、企業の効果的な情報開示や、開示された情報を金融機関等の適切な投資判断に繋げるための取組みについて議論する場として「TCFDコンソーシアム」にも加入しています。

環境課題の解決へ向けた投融資の取組み

「グリーンボンドへの投資」「国内太陽光発電プロジェクトファイナンス」等、環境課題の解決を目的とした債券等への投融資を行っています。持続可能な社会の

実現への貢献を目指し、2019年度にESG投融資方針を策定し、国連責任投資原則(PRI)に署名しました。(詳細はP42参照)

■ 2. 省エネ・省資源への取組み

事業活動を通じた取組み

全社的に省エネ・省資源への取組みを行っています。具体的には、事業活動において環境負荷の大きい紙使用量の削減および電気使用量の削減について、各

所属が主体となって取り組んでいます。

また、2019年から新契約電子化を開始しており、今後更なる紙使用量の削減が見込まれます。

印刷物への環境配慮

お客さま向けカレンダーや商品パンフレット、社内向け教材等様々な印刷物に、再生紙・植物油インキを使用するなど環境にやさしい取組みを行っています。

た印刷物に記載する等、職員の環境意識を高めながら、全社的な取組みを行っています。



独自の環境シンボルマークを設定し、環境に配慮し

環境に配慮した不動産運用

全国に所有する約100棟のテナントビルについては、省エネ型設備の導入や冷暖房設備のきめ細やかな

な温度設定などを通じて省エネ推進に取り組んでいます。

■ 3. 環境面での支援・社会貢献への取組み

サンゴ礁保全プロジェクト

人間に豊かな恵みをもたらす、生物多様性の観点からも重要な役割を担っているサンゴ礁ですが、地球温暖化、海洋汚染、開発、自然災害などを原因として消失が進んでいます。

サンゴ礁の保全と持続可能な地域づくりのために、

2008年から「サンゴ礁保全プロジェクト」として、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)の南西諸島のサンゴ礁生態系保全活動を支援しています。



©WWFジャパン